

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 社会科（地理的分野）

2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
新しい社会 地理 東京書籍	<p>（1）社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成できる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を「つかむ→追究→解決」のステップで進める構成になっている。また、段階的に学習内容を振り返った後、「探究課題を解決しよう」が設定されており、単元を貫く課題について、文頭と文末の文章に合わせて、自分の言葉でまとめることができるように配慮されている。 ・「もっと知りたい」では、歴史的分野や公民的分野との関わりのある資料が用意されており、各分野と関連付けて学習することができる。 <p>（2）地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のさまざまな地域の「調査テーマを決めよう」では、課題を見つけるための5つの視点と1つずつテーマの例が示されている。 ・中央高地の学習では、山梨県の産業の移り変わりが歴史的観点から説明されている。ワインの生産開始についても説明がされている。 ・写真「ぶどうの収穫（甲州市、p226）」や、ぶどう生産量割合グラフが掲載されている。 <p>（3）各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ページに二次元コードが掲載されており、アクセス先のデジタルコンテンツも充実している。 ・資料についても、動画、白地図（色塗り可能）、雨温図、統計、用語確認など豊富であり、自主的に学習を進められるよう工夫されている。 ・各単元末の「まとめの活動」では、基本的な知識の確認と自分の考えを図で整理することができるように構成されている。また、考えを整理するためのツールとして、コンテンツ内にワークシートデータとして用意されている。 <p>（4）表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土や竹島、尖閣諸島などの地理的特色（気候や地形などの自然環境や資源、生活の様子など）を多く記載しており、土地に対するイメージをもちやすい。 ・ユニバーサルデザインを用いており、様々な特性をもつ生徒

	<p>に対応したデザインとなっている。各章はじめには、ほぼ1ページ分の大きさの1枚写真が掲載されており、これから学習する地域の特徴について考えやイメージをもたせるよう工夫している。</p>
<p>中学社会 地理 地域に学ぶ 教育出版</p>	<p>(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成できる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域の単元導入のページでは SDGs の項目を載せている。6つのテーマ(「クロスロード」)から「持続可能な社会」について考える特設ページがあり、SDGs と関連を強めながら学習に取り組んだり、歴史的分野や公民的分野と関連付けて学習を進めたりすることができる。 <p>(2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域をながめての「調査テーマを決める」では、テーマの例である6つの視点に加え、1視点につき3つの発見したことや疑問の例が示されている。 ・中央高地の学習では、抑制栽培と関連付けた写真「出荷時期をずらして生産されるぶどう」(山梨市、p217) やぶどう・ももの生産割合のグラフが使用されている。また、観光客数の資料は、山梨県内のどの観光地に観光客が多く集まっているのかわかりやすい。 <p>(3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びリンク」では、各章ごとの内容を個人で復習したり自主的に学習したりすることができるようなコンテンツがあり、知識の定着が期待できる。 ・章末のページには、学んだことから未来の社会を想像する活動が設置されている。 <p>(4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の領土をめぐって」では、各国との交渉の様子や現在の状況について記載されている。また、南東を上にして日本海を真ん中に置く地図を掲載しており、大陸からの視点で日本列島を眺めることができる。 ・章ごと・地域ごとに見出しの色が分かれており、ページを探しやすい。また、資料は全体的に大きく見やすい。
<p>社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 帝国書院</p>	<p>(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成できる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各節冒頭の「写真で眺める」では、写真から地域を概観する学習活動を通して、学習する地域に対する興味・関心を高め、学習の見通しを立てることができる。各章・節末の「学習を振り返ろう」では、思考ツールを活用しながら対話的な学びや深い学びの実現を図っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に向けての特設コラムページは、「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「情報・技術」「平和・安全」「伝統・文化」の6テーマから構成されており、歴史的分野・公民的分野と関連付けて、社会的な見方・考え方を働かせることができる。 <p>(2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のさまざまな地域の「地域調査のしかた」では、調査テーマを決めるときの視点が6つ示されており、統計資料から読み取ったこと→疑問→テーマ設定への流れの例が示されている。地域調査の手法について理解しやすくなっている。 ・中央高地の学習では山梨県の産業の移り変わりの説明が歴史的視点から書かれている。また、山梨県の農業産出額の内訳の変化のグラフ (p226) も掲載されているため、山梨県の特色について捉えやすくなっている。他に写真「ぶどうの収穫」(山梨市) が掲載されている。 ・巻頭のページ「地図帳を活用した学び方」では、山梨県を例に、地図帳と連携した学習について記されている。 <p>(3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの二次元コードからも、図解アニメーションやNHK for School、思考ツールや白地図など14もの項目が並ぶホーム画面が表示され、豊富な情報量を誇る。 ・単元を貫く問いに対して、単元末では、より確実に学習した内容に基づいたまとめとなるように、知識の確認と整理のために図や表に書き起こしてからまとめる構成となっている。 <p>(4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象災害・火山災害のイラスト、日本の農業地域分布図・工業地域分布図、第1次・第2次・第3次産業の就業人口の分布図の掲載、日本の産業については見開き2ページで取り扱うなど、日本を多くの視点から捉えることができる資料が豊富である。 ・各所に「持続可能な社会の実現」に向けた意識を高める「未来に向けて」「地理プラス+」などのコラムが充実しており、基本的な学習内容に加え、内容に関連する新しい視点や情報として、最新技術の導入や変化と社会への影響などについて理解を深めることができる。 ・日本の領域について、今までの外交の歴史やその地の生活の様子など、詳細な説明がされているため、より正確に現状を理解することができる。
<p>中学社会 地理的分野</p> <p>日本文教出版</p>	<p>(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成できる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界・日本の諸地域の学習について、第1次の自然環境の学習後、問いを立てるためのページが設けられている。章末で

	<p>は、章の問いについて、ディベートや思考ツールなどを活用しグループで交流する場面を設定している。STEP1・2と段階を踏みながら考えをまとめることができるような構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各州や地方の節の学習が始まるページではGDPや県内総生産の内訳の資料があり、公民的分野との連携を図っている。 単元末に学び合いの「議論してみよう」が設定され、SDGsと関連しているものが多く、社会的な資質・能力の基礎を育成できる内容となっている。 <p>(2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域調査の手法では、地形図の読み取りを学習し、テーマ→調査→発表の順に構成されている。発表までの段階をページ下方に示しており、自分がどこまで学習が進んだのか把握することができる。 中央高地の学習では、写真「ぶどうの収穫」(山梨市、p226)がスマート農業との関連で掲載されている。産業を捉える視点として観光業が設けられ、観光農園やワインの醸造施設、清里など詳しく記載されている。 <p>(3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各ページに学習課題を解決するための見方・考え方が記載されており、課題解決に向けた学習に取り組みやすくなっている。 二次元コードからは、ページ内容に関連する動画、地図、統計資料に加え、内容に関連する外部リンク(例:日本の工業のページでは、名古屋港の関連サイトへ)があり、活用しやすい。 <p>(4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末資料に、用語解説や世界の国々と都道府県の統計資料が掲載されている。統計資料では、地図帳にない人口増加率の推移や国宝・重要文化財数などの情報を確認することができる。 コラムや写真は最新(ロシア・ウクライナ問題、新型コロナウイルス関連、テレワークの実施についてなど)のものが扱われており、学習内容をさらに深めることができる資料が豊富である。 日本の領域に関する内容では、領土の変遷を地図と年代で示している。
--	---